

# 風間浦村 まち・ひと・しごと創生

## 【総合戦略】

令和2年度～令和6年度

村の将来像

「く小さな村の挑戦」  
「こころ豊かに暮らせるゆかいむら」

青森県 風間浦村

# 目 次

## 【1】 基本的な考え方

1 - 1	趣 旨	1
1 - 2	総合戦略の位置づけ	1
1 - 3	計画の前提となる社会背景	1
1 - 4	計画期間	1
1 - 5	計画人口	1
1 - 6	村の将来像	2
1 - 7	3つのむらづくり理念	2
( 1 )	「健康に寄り添うやさしいむらづくり」	2
( 2 )	「自然を活かし、村民が生きるむらづくり」	3
( 3 )	「高齢者の活気を創造するむらづくり」	4

## 【2】 重点プロジェクト

2 - 1	プロジェクト策定の背景	6
( 1 )	人口減少と少子高齢化社会	6
( 2 )	基幹産業の衰退	6
( 3 )	住環境として選ばれる地域づくりの必要性	6
( 4 )	環境にやさしいむらづくりの必要性	6
( 5 )	産業力の強化と雇用確保の必要性	7
( 6 )	積極的な情報発信の必要性	7
2 - 2	マネジメントサイクル	7
( 1 )	計画策定	8
( 2 )	推進	8
( 3 )	評価	9
( 4 )	改善	9
2 - 3	5つの重点プロジェクト	9
( 1 )	風間浦村総合戦略重点プロジェクトの概念	9
( 2 )	重点プロジェクトの考え方	10
( 3 )	4つの基本方向	11
◆	定住応援むらづくりプロジェクト	11
◆	きずな応援むらづくりプロジェクト	14
◆	名物応援むらづくりプロジェクト	16
◆	子育て応援むらづくりプロジェクト	18
◆	健康応援むらづくりプロジェクト	20

## 【3】 SDGsの理念を踏まえた各種施策の展開 22

## 風間浦村の将来像

「 ～ 小さな村の挑戦 ～ ころ豊かに暮らせるゆかいむら 」

### 【1】 基本的な考え方

#### 1-1. 趣旨

風間浦村まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「総合戦略」と言う)は、平成27年度から令和元年度までの5カ年を第1期として、国の支援制度を活用しながら人口減少対策に取り組んで参りました。

国では、地方創生の次なるステージに向けた第2期総合戦略の策定を進めており、当村においても切れ目ない取り組みを進め、人口減少や高齢化問題などに対しても村の独自性を発揮し継続的な展開を図ります。

#### 1-2. 総合戦略の位置づけ

第1期総合戦略は、平成28年策定の「第一次風間浦村総合計画」の下位計画として位置づけられており、第2期総合戦略においても同様とし、総合戦略の重点プロジェクトや戦略プランを推進していきます。

#### 1-3. 計画の前提となる社会背景

風間浦村の人口は、昭和30年の4,974人<sup>※1</sup>をピークに年々減少傾向にあり、平成27年には1,976人と60年間で2,998人<sup>※2</sup>の減少となっています。地方の人口減少や東京一極集中は全国的な問題となり、地域コミュニティの崩壊や空き家の増加、担い手不足など様々な問題を抱えております。また近年の大規模な自然災害の発生など地方を取り巻く環境は益々厳しさを増しております。

このような中において、村民が課題を共有し課題解決に向かうため、実効性のある村づくりへの一歩を踏み出せる政策展開を図り、「ころ豊かに暮せるゆかいむら」を目指します。

また、2015年に国連において、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」<sup>※3</sup>が採択され、17の目標が掲げられており、本村においても全ての関係機関と連携・協力してSDGsに取り組むこととします。

※1・※2 人口:国勢調査より

※3 平成27年9月25日に、ニューヨーク・国連本部で開催された国連サミットで採択され、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年までを期限とする 17の国際目標。

#### 1-4. 計画期間

令和2年度(2020年)から令和6年度(2024年)までの5カ年とします。

#### 1-5. 計画人口

「風間浦村人口ビジョン」における人口の将来展望は、平成27年国勢調査を基にして時点修正を行い、計画期間内での取り組み成果を見込み1,720人とします。

#### 1-6. 村の将来像

津軽海峡の恵みを活かした海の豊かさを守り、漁村文化や習慣を伝承しながら新たな領域へのチャレンジを恐れず風間浦プライドを持って持続可能な地域社会の発展を目指し、村の将来像は、第1期総合戦略において掲げた将来ビジョンを継続して踏襲します。

### ～小さな村の挑戦～ ころ豊かに暮らせるゆかいむら

#### 1-7. 3つのむらづくり理念

第一次風間浦村総合計画では、村の将来都市像 ～小さな村の挑戦～ころ豊かに暮らせるゆかいむら として、3つの基本理念を掲げており、第2期総合戦略においても総合計画の後期期間として継承し推し進め持続可能なむらづくりに努めます。

##### ◆ 基本理念

- I 健康に寄り添うやさしいむらづくり
- II 自然を活かし、村民が活きるむらづくり
- III 高齢者の活気を創造するむらづくり



##### (1) 「健康に寄り添うやさしいむらづくり」

小さな村の強みを活かし、少子高齢化対策や年代に応じた健やか力の向上による生活習慣の改善に向けた取組など、政策の選択との組合せによる村民の暮らしの安心と活力を与えるむらづくりを目指します。

##### ① 村民一人一人の健康づくりの推進に関する基本的な考え方

全ての村民が希望と生きがいを持ち、健康で幸せに暮らす社会を目指し、村民の健康教養の向上、ライフステージに応じた生活習慣等の改善、生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底、村民の健康を支え、守るための社会環境の整備を推進し、健康寿命の延伸に取り組みます。

##### ② 安心して子供を産み育てられる環境づくりに関する基本的な考え方

家庭教育の重要性を改めて認識しつつ、子供・子育て家庭を、保育所・学校、ボランティア、自治会、事業所、行政など、地域ぐるみで支えあい、ふれあうことで、支える人も支えられる人も、みなぎ輝いていく環境づくりに取り組みます。

### ③ 質の高い地域医療サービスの提供に関する基本的な考え方

地域住民が必要な時に必要な医療が受けられるように地域医療の確保、良質な医療の提供を目指し、風間浦診療所の施設の適切な維持管理と医療機器等の充実や広域的な医療施設及び医療体制の拡充を図り、村民の通院手段の確保に努め医療機関を受診しやすい環境の構築に取り組みます。

## (2)「自然を活かし、村民が生きるむらづくり」

「津軽海峡に面した本州最北の村」、人口減少が著しい漁村ですが、若者・女性の村内定着や人材還流を促進するためには、生活の基盤となる生業づくりが重要です。

本村は、安心・安全で優れた水産物や美しい自然、郷土料理や多様な文化・習慣や祭りなど様々な地域資源に恵まれている一方で、少子高齢化・担い手不足など多くの課題を抱えています。課題解決にチャレンジできる環境にあり、ここに住み続けるための村民の知恵と協働による持続可能なむらづくりを目指します。

### ① 海・山の自然資源活用の基本的な考え方

本村の強みである農林水産業分野は、村内の三漁協や法人経営体などが中心となってコミュニティ機能の維持などを行う「地域経営」が推進されており、持続可能な農山漁村が確立されています。

ここで生産されたものは、鮮度を保持したままの輸送により生産から消費までの流通ルートの確立など意欲ある事業者によって、戦略的に販売されている例もあり少量高品質のオンリーワンを目指した環境づくりに取り組みます。

### ② 水辺環境保全の基本的な考え方

本村は約20kmの岩礁海岸が続き、津軽海峡の四季折々のコントラストや易国間川溪流沿いの木々の色合いは、季節の移ろいとゆっくりとした時間の流れを感じさせてくれる癒しの空間を演出してくれます。また、海は川と繋がり、清らかな川の水を育むのは豊かな森であり、豊かな森を育てるのは、そこに住み続ける人々であり、津軽海峡の恵みは、私達を活かしています。

一つ一つの小さな水辺環境の保全行動は、海洋保全に繋がり藻場の復活は、ブルーカーボン<sup>※1</sup>へと繋がっていきます。

このようなことから、身近な自然環境を大切にし、そこに住む人々の癒しと活力をもたらす水辺環境の保全に取り組みます。

※1 海洋生態系に蓄積される炭素のことであり、そうした作用を有する生態系を「ブルーカーボン生態系」という。

### ③ 協働によるむらづくりの基本的な考え方

平成22年から平成27年までの人口減少率<sup>※1</sup>は、全国ワースト10に入る▲19.7%となっており、また令和元年9月末の65歳以上の高齢者比率<sup>※2</sup>は44.6%と年々比率が上昇しております。令和20年代には二人に一人が65歳以上の高齢者の見込みです。

このような人口減少社会に向かっただの様々な課題に対応するためには、村民、地域、団体、企業、行政が同一の方向で各々が主体性を持った新たな価値観の創出や、公助自助の協働のむらづくりに取り組みます。

※1 人口減少率 H22・27年の対比による全国ランキング

※2 令和元年9月末高齢者比率:村住民基本台帳

### (3) 高齢者の活気を創造するむらづくり

風間浦村の65歳以上の老齢人口は、令和元年9月末現在で831人となっており高齢化比率は、44.6%と益々高くなっています。

このような中で、高齢者が生活の質を向上させ、人生を楽しみながら地域で元気に暮らせる社会に向けて、地域包括ケアシステムの進化推進とともに、健康づくりと介護予防・重度化防止を推進し、地域共生社会の実現と村民の生活の安定と賑いを持続するむらづくりを目指します。

#### ① 高齢者の穏やかな暮らしに関する基本的な考え方

高齢者が出来る限り要介護状態になることなく、住み慣れた家庭や地域で健康でいきいきした生活が送れるように、健康づくりや介護予防などに結びつく取り組みの充実を図り、健康で生きがいを持ち、いきいきとした生涯を過ごせるよう、積極的な社会参加・生きがい対策の推進に取り組みます。

#### ② 介護が必要となっても穏やかな暮らしに関する基本的な考え方

介護保険の持続可能な運営を推進するために、介護保険等のサービス提供にあたっては、在宅でのサービスを中心にサービスの提供に努めるほか、新たな介護予防・日常生活支援総合事業を整備し、地域支援事業による介護予防を推進します。

一方、在宅での生活を維持していくために、介護保険サービスのほか、生活を支援する各種サービスが必要とされています。

そこで、地域での暮らしを基本とし、住まいの確保とともに、村民同士の支え合いや関係機関などの連携による介護保険サービスや医療、生活支援に切れ目のない地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。

そのほか、認知症予防や認知症の疑いがある高齢者を抱える家族を対象とした相談や支援の充実に取り組むとともに、高齢者の権利や尊厳を守るための制度の普及、推進に努めます。

③ ともに支え、安心・安全な暮らしの基本的な考え方

身体機能が低下している高齢者にとって、安全な生活環境づくりは不可欠です。

高齢者は、外出できるうちは、まだ地域との日常的な関わりもあるとみられますが、外出が困難になると、医療や介護への通院・通所の負担や地域での孤立が懸念されます。

村民一人ひとりが、地域の高齢者を支える意識をもって地域全体で支援しあう環境づくりに取り組みます。

また、災害や事故などあらゆる危険から高齢者の安全を確保できるように、村民をはじめ関係機関や村との協働による安心・安全なむらづくりを推進します。

## 【2】 重点プロジェクト

### 2-1 プロジェクト策定の背景

#### (1) 人口減少と少子高齢化社会の進行

我が国の人口は、平成27年(2015年)の国勢調査では1億2,709万5千人と前回調査と比べて96万2千人の減となり、調査開始以来、初めて減少となりました。

風間浦村の人口は、昭和30年(1955年)の4,974人をピークに平成27年国勢調査では、1,976人となり60年間で2,998人の減少となっております。

この傾向は今後も継続すると予想されており、国立社会保障・人口問題研究所では、令和17年(2,035年)には、本村の「まち・ひと・しごと創生風間浦村人口ビジョン」では、1,114人と予想され、人口減少の最終段階へ突入する見込みです。

#### (2) 基幹産業の衰退

平成27年の国勢調査によると、村の基幹産業である漁業は、就業者の年齢が男性では29歳以下が2.7%で女性の就業者は0%となっている状況のため、今後は急激な担い手不足が予測されます。また、女性の就業者数が多い宿泊業・飲食サービス業でも29歳以下の就業者数は11%と担い手不足の恐れがあります。更には、鳥獣害による農作物被害や立木被害が発生するなど、人と獣害の距離が近づき人的被害の恐れもあり、土地利用の有効活用が図られていません。

新規就漁支援施策を推進し、若年者や移住者などの就漁者の増加による漁業の再興が喫緊の課題です。

#### (3) 住環境として選ばれる地域づくりの必要性

風間浦村は、高速交通網体系から遠いことや路線バスの運行本数や目的地までの所要時間が長いことなどが何よりの地理的ハンディです。しかし、四季折々に移り変わる海の色や山の色など、自然が近くにある安らげる空間でもあります。また、田舎特有の顔の見える近さが地域の安心・安全に繋がっています。

ライフスタイルの多様化に伴い、関係人口や移住人口の増加を目指すためには、選ばれる地域として様々な施策展開を進め情報発信に努めることが重要です。

#### (4) 環境にやさしいむらづくりの必要性

風間浦村では、生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止を目指した取組として平成15年度より風間浦村合併浄化槽設置整備事業費補助金交付要綱を定め、毎年予算の範囲内において補助金を交付してきた結果144件の家屋が設置し、その数は毎年増加傾向にあります。また平成26年度より海岸漂着物の清掃作業や毎年春にボランティアで行われる国道279号沿いの空き缶拾いなど、環境に配慮した取り組みがなされています。

しかしながら、世界的な地球温暖化やマイクロプラスチック\*1などの海洋汚染はグローバ



ルな問題であり、海岸に打ち寄せる漂着物が無くならないのが現状ですが、多くの小さな活動の積み重ねが必要な時代となってきました。

※1 紫外線や波の影響で劣化していったもののうち、5mm以下のサイズになったプラスチックのことをマイクロプラスチックといいます。

#### (5) 産業力の強化と雇用確保の必要性

人口が全国的に減少するなか、東京圏への転入超過数は長期的には減少傾向にあるものの、22年連続の転入超過となっており、依然として東京一極集中の傾向が続いています。また若者の流出率は依然として高止まりを示しています。

このようななかで、新たな視点に立ちIoT<sup>※2</sup>などを活用して販路拡大に努めるなど時代に即した対応が必要となっております。

また、村内の魅力的な地域資源を生かした産業の創出や事業者の経営革新・安定化を促すとともに後継者不在企業の円滑な事業継承を促進する取り組みなどを通じ、地域産業の成長・発展に努めることが重要です。

※2 従来インターネットに接続されていなかった様々なモノ(センサー機器、駆動装置(アクチュエーター)、住宅・建物、車、家電製品、電子機器など)が、ネットワークを通じてサーバーやクラウドサービスに接続され、相互に情報交換をする仕組みです。読み方は「アイオーティー」で、「Internet of Things」の略からもわかるように「モノのインターネット」という意味で使われています。

#### (6) 積極的な情報発信の必要性

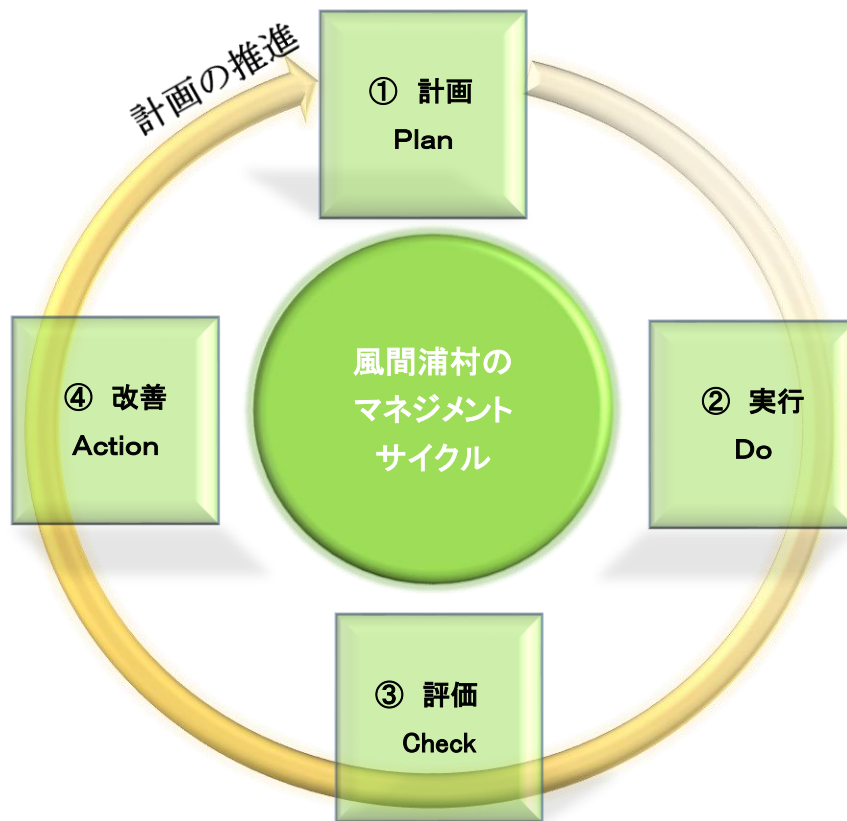
風間浦村の地域資源の魅力を継続的にPRし様々な状況を捉え情報発信に努めることが望まれるとともに、情報発信等の担い手の養成確保を行っていく必要があります。積極的な情報発信が必要であります。

また、風間浦村ファンを増やすには、おもてなしや商品の企画開発を行う人的施策のほか、情報通信端末利用者をターゲットとした村の情報発信の仕組みづくりや戦略の組み立てが重要なポイントとなってきます。

### 2-2 マネジメントサイクル<sup>※1</sup>

政策・施策体系に基づく取り組みの成果や課題などについて、風間浦村まち・ひと・しごと創生推進会議による検証を実施しながら政策点検を行い、その結果や効果的・戦略的な取り組みの企画立案や実効性の高い事業の実施につなげるためのマネジメントサイクルを展開します。

※1 マネジメントサイクルとは、仕事をどのような過程で回す事が効率よく業務を行えるようになるかという理論のことをいいます。Plan(計画)・Do(実行)・Check(点検・評価)・Act(改善・処置)の頭文字を取ってPDCAサイクルとも呼ばれています。



#### (1) 計画策定(Plan)

風間浦村総合戦略の策定においては、第一次風間浦村総合計画を上位計画として、「風間浦村人口ビジョン」の将来人口推計を踏まえ、庁内の各課代表者から組織された「風間浦村まち・ひと・しごと創生推進部会」と「風間浦村まち・ひと・しごと創生推進本部」が連携して立案・検討・策定を行い、「風間浦村まち・ひと・しごと創生推進会議」(外部組織)の助言・審議を行った上で策定したものです。

また、青森県が策定した次期「まち・ひと・しごと創生 青森県長期人口ビジョン」、「まち・ひと・しごと創生 青森県総合戦略」と国のまち・ひと・しごと創生「長期人口ビジョン」、「総合戦略」について、国や県における基本的な方向性や整合性を合わせた上で、次期「風間浦村総合戦略」をまとめました。

#### (2) 推進(Do)

総合戦略は、庁内各課等の政策・施策体系に基づく「各種むらづくり戦略プロジェクト」を踏まえた事業等を企画・立案し、予算編成作業等を経て、各分野において関連する地域・団体・企業・行政が同じ方向を見据え推進することが必要となります。また、計画期間内における重点分野を明確に示し、村の総力を挙げて取り組むことが高い実効性を生み計画実現の推進力を高めます。

計画実施は「風間浦村まち・ひと・しごと創生推進本部」が行います。

### (3) 点検・評価(Check)

政策・施策体系に基づく取り組みの成果を検証するための政策点検を行うとともに、課題や今後の方向性を踏まえたうえで、大局的な視点から、翌年度の重点化すべき取組を明らかにするため

- ① 庁内における自己点検
- ② 自己点検に係る風間浦村まち・ひと・しごと創生推進会議の検証
- ③ 風間浦村まち・ひと・しごと創生推進会議から村長へ提言

を毎年度実施します。

※ 庁内における自己点検及び風間浦村まち・ひと・しごと創生推進会議の検証に当たっては、総合戦略に掲げる基本目標や成果指標(KPI)、各政策分野に関する個別計画に掲げる数値目標などにより確認していきます。

### (4) 改善(Action)

推進会議の提言などを参考に、推進本部は次年度以降の計画の修正や策定を行い「各種むらづくり戦略プロジェクト」や各政策・施策分野に反映させていきます。

## 2-3 5つの重点プロジェクト

人口ビジョン及び総合戦略で描く村の将来像を実現するためには、全ての施策について画一的に実施することは、行政サービスの質・量ともに村の財政バランスから非常に難しい状況です。

課題の効果的な解決には、政策の必要性や効果を検討し選択や集中が必要です。

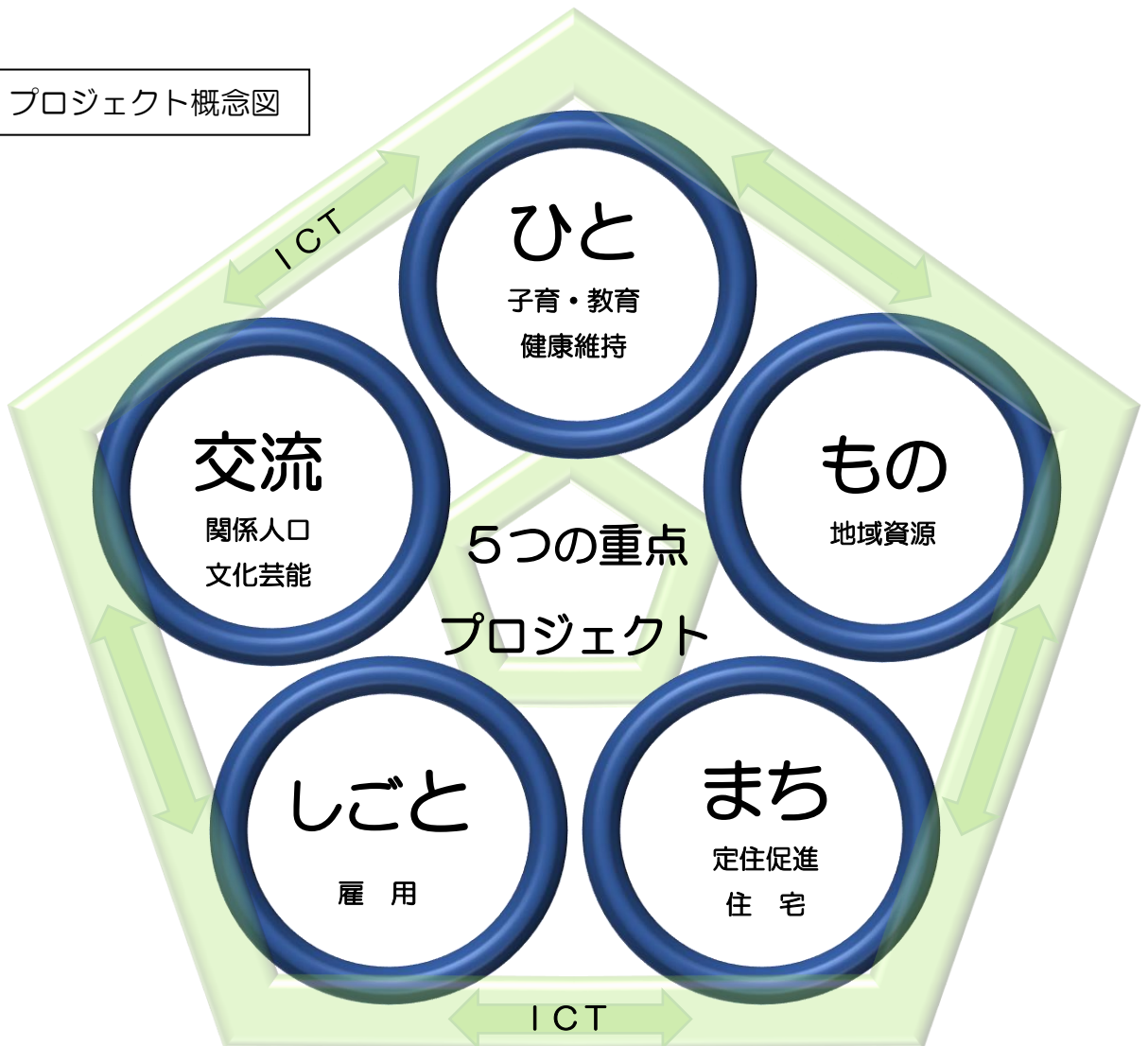
また、村が直面する人口減少傾向と住民ニーズを検討し人口減少抑制に向けた総合戦略の「概念」と「5つの重点プロジェクト」の方向性は、前計画を踏襲します。

#### (1) 風間浦村総合戦略重点プロジェクトの概念

村の人口減少対策に向け、「まち」・「ひと」・「しごと」・「もの」・「交流」の各分野に対して、「定住促進対策」、「交流(関係)人口対策」、「雇用対策・地域資源活用」、「子育て支援対策」、「健康維持対策」の5つの政策の柱を設定し、その実現のため「定住応援むらづくりプロジェクト」・「きずな応援むらづくりプロジェクト」、「名物応援むらづくりプロジェクト」、「子育て応援むらづくりプロジェクト」、「健康応援むらづくりプロジェクト」の5つの重点プロジェクトに取り組みます。

また、村民の情報共有や村を訪れる人たちの利便性向上のためにICTを活用した施策についても併せて推進します。

プロジェクト概念図



(2) 重点プロジェクトの考え方

本戦略が描く将来像を実現するためには、計画期間内に取り組む重点プロジェクトの順位を明確にしたうえで、村の実情に沿った4つの基本方向を設けました。

また、各重点プロジェクトは、総合戦略における基本目標であり、優先的な予算配分に努め、村民や企業、各種団体等との連携を深化させた取り組みに繋がります。

### (3) 4つの基本方向



#### (1) 新しい人の流れをつくる

- 新たな地域づくりには、交流・関係人口の増加が不可欠です。
- 村には、豊かな海産物、癒しの温泉など地域資源に恵まれた環境にあり、交流・関係人口の創造が期待できます。



#### (2) 安定した雇用の創出

- 安定した雇用・就労は、持続可能な生活の支えです。
- 村の役割は、雇用の創出・確保であり重点課題に位置付け、積極的に取り組む必要があります。



#### (3) 結婚・出産・子育て・教育へ希望の光を

- 結婚・出産・子育てや教育環境は、次代に対応した積極的な支援が必要です。
- 村の役割は、若い世代の希望をかなえ、子供の笑顔溢れるむらづくりを目指します。



#### (4) 安心・安全な暮らしと、地域と地域を結ぶ

- 村は、道で繋がり海で結ばれ人々が時代を超えて共存しています。
- 村の役割は、時代に即応した村づくりを進め、村民の安心・安全な暮らしを守ります。

# 定住応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- ・豊かな自然を好む移住者を誘い、定住を促進するための情報発信に努めます。
- ・安心・安全に暮すための環境整備に努めます。

### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
移住世帯数	5年間累計 5世帯

## 2. 基本方向

- ・風間浦村へ新しい人の流れをつくることのできる施策であること

## 3. 具体的な施策と成果指標

具体的な施策・事業	内容	成果指標
自主防・消防団強化対策事業	消防団員の確保・増員を図り消防団と自主防災組織との連携を推進し地域住民が地域防災の担い手となる環境を整備します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団員数 R6年度：130人以上</li> <li>・自主防災組織を対象とした防災訓練等の実施 1回以上/年</li> </ul>
婚活応援事業	しもきた恋パーク等婚活イベント情報を村内の独身者への提供に努めるとともに、婚活イベントを誘致し風間浦村を体感して頂くことにより移住婚活へ繋がります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活イベント参加者数 5人/年</li> </ul>
空き家バンク活用事業	空き家バンク制度の周知を図り空き家情報や奨励金制度の情報発信に努め定住促進に繋がります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家バンク登録件数 10件/5年間</li> </ul>
家庭ゴミ減量大作戦事業	一般家庭から排出される可燃ゴミの50%が生ゴミであり、排出方法の工夫によるゴミの減量化を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一日当たりのゴミ排出量 R6年度：738g (H29年度排出量▲20%)</li> </ul>
一人暮らし高齢者訪問事業	一人暮らし高齢者宅を訪問し、悩み事の相談に応じることで安心感を抱けるような生活環境の充実に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らし高齢者訪問件数 一日当たり／ 5件 一月当たり／115件</li> </ul>
地域おこし協力隊導入事業	後継者問題で衰退している漁業や観光業に地域おこし協力隊を導入し、地域経済の持続化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊導入 R2年度 0人 R6年度 6人</li> </ul>

#### 4. その他関連する施策

- 海岸漂着物地域対策推進事業

海岸に漂着した木くずや廃プラスチック類を業者委託又は地域住民ボランティアを活用しながら回収し処分します。

- 交通弱者支援事業

地域医療機関受診者を対象として、交通弱者へ配慮したコミュニティバスの運行を行います。

# きずな応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- ・人と人の絆（村民同士や村民と村外住民）を育むことで関係人口の拡大を図ります。

### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
観光入込客数	70,866人（H30）⇒80,000人（R6）

## 2. 基本方向

- ・風間浦村へ新しい人の流れをつくることのできる施策であること（観光関連）
- ・風間浦村内外の人と人をつなぐ施策であること

## 3. 具体的な施策と成果指標

具体的な施策・事業	内容	成果指標
ゆかい村再発見プロジェクト	下風呂温泉「海峡の湯」を核とした誘客促進のため、ホームページを中心とした情報発信の強化と湯治文化の周知を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPアクセス数</li> <li>H30年度 12,493件/年</li> <li>R6年度 18,000件/年</li> </ul>
ワーケーション※1拠点整備事業	夏場の冷涼な気象条件を生かし、働きながら休暇を取るワーケーション拠点を整備し交流（関係）人口の増加を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーケーション拠点利用者</li> <li>R2年度 0 人/年</li> <li>R6年度 10 人/年</li> </ul>
世代間交流事業	母子、高齢者等の交流の場を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子、高齢者の交流</li> <li>3回/年</li> </ul>
郷土芸能行為伝承事業	村内に伝わる郷土芸能の伝承に努めるとともに、デジタル化を図り地域内外への情報発信に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土芸能演目の習得</li> <li>1目/年</li> </ul>

※1 「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた造語である。 おおむね、リゾートなどの環境のよい場所で、休暇を兼ねてリモートワークを行う労働形態を指すことが多い。



#### 4. その他関連する施策

##### ● 下北ジオパーク推進事業

下北ジオパークのテーマは“海と生きる「まさかり」の大地～本州最北の地に守り継がれる文化と信仰～”です。

大地の遺産の保護・保全を行い、学習や教育へ活用することで地域の魅力を再発見し、郷土愛の醸成を図り、また、地域の自然や文化を活用した経済活動への各産業の発展・波及に努めます。

##### ● 大学との連携事業

少子高齢化の急速な進展に伴い、後継者不足が顕著に表れ様々な部分で人員の確保や行事等に支障が来たされています。

このような中で、青森公立大学との連携による「持続可能な地域コミュニティ」の維持を目指した取組みや関係人口の増加を目指します。また、学校法人同志社とはICT教育を通じた相互連携を深めます。

##### ● 革新的情報技術活用事業

人口減少・高齢化の進行による担い手不足によって、様々な地域課題が顕在化しています。

このような中で、革新的情報技術を活用した医療・生活交通の確保を図るとともに、スマート農業・漁業、テレワーク等による若者、女性、高齢者など誰もが働きやすい環境を整備することで、地理的な格差の解消を目指します。

##### ● インバウンド対策事業

国は、2030年の訪日外国人旅行者数6,000万人実現を目標に外国人観光客の誘客促進に取り組んでいます。

当村は、美しい自然景観、温泉、食など四季を通した漁村の姿を楽しめる観光資源を有しています。

二次交通や多言語表記など、受け入れ環境などの整備を目指します。

##### ● 道の駅整備構想事業

村の情報発信や地域産品の販売拠点として道の駅を整備し、交流人口の拡大を図ります。

# 名物応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- ・山海の幸を活かした雇用の場づくりと地域資源の有効活用を図ります。

### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
新規就業者数	5年間の累計 3人

## 2. 基本方向

- ・風間浦村において安定した雇用を創出し、新規就業者の確保・育成を目指す施策であること

## 3. 具体的な施策と成果指標

具体的な施策・事業	内容	成果指標
未来へ繋ぐ海のプロジェクト	藻場再生活動の支援や所得向上を目指した養殖・販促活動の助成、漁業後継者就労支援と支援制度の確立に努めます。また藻場の再生は、ブルーカーボンへと繋がります。	藻場再生活動による数量 ウニ駆除回数 H30年度15回：R6年度21回 養殖事業を手掛ける漁家数 H30年度4人：R6年度7人
未来へ繋ぐ農のプロジェクト	農業を楽しみ、お金の換えるための仕組みづくりを推進すると共に、野生鳥獣による農作物被害の低減に努めます。	農作物被害額 H30年度 6万円台 R6年度 3万円台 青空教室の開催回数 H30年度 1回 R6年度 2回
未来へ繋ぐ森のプロジェクト	豊かな森林環境の保全に努め、民有林の計画的な整備を進めるとともに、林業関係者の支援に努めます。また森林環境の保全は、グリーンカーボン※1へと繋がります。	新規林業従事者の増 R6年度 3人

※1 陸上の植物が、光合成を通じて二酸化炭素を吸収して固定する炭素の総称。沿岸海域の海洋生物によって固定された炭素（ブルーカーボン）に対していう。

#### 4. その他関連する施策

##### ● 風間浦鮫鱈品質向上事業

風間浦鮫鱈は、村内三漁協連盟による申請で平成26年9月には地域団体商標として登録され、厳格なブランド基準の下に水揚げが行われております。

平成27年には、国においてG I 制度（地理的表示制度：地域で育まれた伝統を有し、その高い品質等が生産地と結び付いている農林水産物や食品等の名称を知的財産として保護する制度）がスタートしたことをうけ令和元年12月10日現在では下関フグなど89産品が登録され9品が水産品となっています。

そこで、更なる品質管理や鮮度保持、新たな販売方法や販路拡大など漁業者や漁協関係者などと検討しながら併せてG I 登録を目指します。

##### ● 未来を変える挑戦事業

創業・起業の推進、新産業の創出など多様な雇用創出の支援やクラウドファンディングを利用しやすい環境の整備に努めます。

# 子育て応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- ・村の宝である子供の成長を応援し、人材の育成を図ります。

### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
ICT機器の充足率	100%

## 2. 基本方向

- ・風間浦村に暮らす若い世代の結婚・出産・子育てを応援し、風間浦村ならではの教育環境や風土・文化・歴史を学べる施策であること

## 3. 具体的な施策と成果指標

具体的な施策・事業	内容	成果指標
未来を生きる力の育成事業	ICT教育環境の整備と教育内容の充実を図り、AI活用講座を実施し、社会で生きる力を育て、わくわくする教育環境を図ります。	・学校が楽しいと感じる児童生徒の割合 目標値 85%（毎年度）
教育相談体制の整備	スクールカウンセラーの配置により児童生徒や保護者の心のケアを図り、いじめや不登校に繋がる問題の早期解決を目指します。	カウンセリング件数 H30年度 13件 R6年度 3件
子ども医療費無償化事業	乳幼児から高校卒業までの医療費自己負担分の医療費助成を行い、子育てしやすい村づくりを目指します。	出生数 6人 または 転入者数 6人
保育無償化事業	村内在住で風間浦保育所に入所した全ての子供の保育に係る費用を無償とします。	保育所入所者数（毎年度） 35人

#### 4. その他関連する施策

- 保育所維持運営事業

保育所の開所維持運営は、子育て条件の必須であり指定管理者制度の導入により保育の質の向上に努めます。

- 食育教育の推進

食は生命を維持し、子供たちの健やかな成長へ欠くことのできないものであり、多くの生活習慣病の予防など重要な行動となっていることから、栄養バランスの良い食生活を身に着けるための知識の普及推進に努めます。

# 健康応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- 健康で活動的な村民を増やし、活力あるむらづくりを進めます。

### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
平均寿命	男：R1年度78.7歳⇒R6年度80.0歳 女：R1年度85.5歳⇒R6年度87.0歳

## 2. 基本方向

- 時代にあった風間浦村をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携するものであること

## 3. 具体的な施策と成果指標

具体的な施策・事業	内容	成果指標
ゆかい村健康寿命延伸事業	特定健診受診率の向上を目指した取組を行うと共に、検診結果を踏まえた運動習慣の意識付けや、だし活講座を開催して食生活を改善するきっかけづくりを行います。	5年後の平均寿命 R1年度 ⇒ R6年度 男性 78.7歳 80.0歳 女性 80.0歳 87.0歳
介護予防事業	湯っこの会事業及び老人無料入浴事業の際に憩いの場を設け、血圧測定、健康相談及び体操等を行い、介護予防に努めます。また、専門職による介護、リハビリを必要とする方の相談受付や介護予防教室を開催します。	介護予防教室等開催回数 一月当たり／5回以上
地域医療体制維持事業	地域医療の確保と適切な診療環境の維持管理に努めます。	診療所診療日 年間/244日 開所維持

#### 4. その他関連する施策

- 一人暮らし老人の見守り体制の継続（定住応援再掲）

急速な高齢化に伴い、独居老人の増加が進んでおり、高齢者の安心・安全な生活を守るために、地域包括支援センター職員や民生委員による見守り活動を継続していきます。

- 各種予防接種事業

乳幼児や高齢者などへの各種予防接種の情報提供に努め、発症予防や重篤化防止に努めます。

### 【3】 SDGs の理念を踏まえた各種施策の展開

グローバル化が進展する中で、経済・社会・環境をめぐる広範な課題を統合的に解決することを目指す SDGs(持続可能な開発目標)への取り組みが国際社会全体で進められています。

国は、「持続可能な開発目標(SDGs)実施指針」において、SDGs のゴールとターゲットのうち、日本として特に注力すべき8つの優先課題を設定しています。8つの優先課題は、健康・長寿の達成を始め、これまで本村が重要な政策課題として掲げ、挑戦してきた分野と軌を一にするものであり、本計画においても、「産業・雇用」、「教育」、「環境」など各政策分野に関わるものとなっており、SDGs の理念を踏まえながら、計画の推進を図ります。



#### SDGs の17の目標

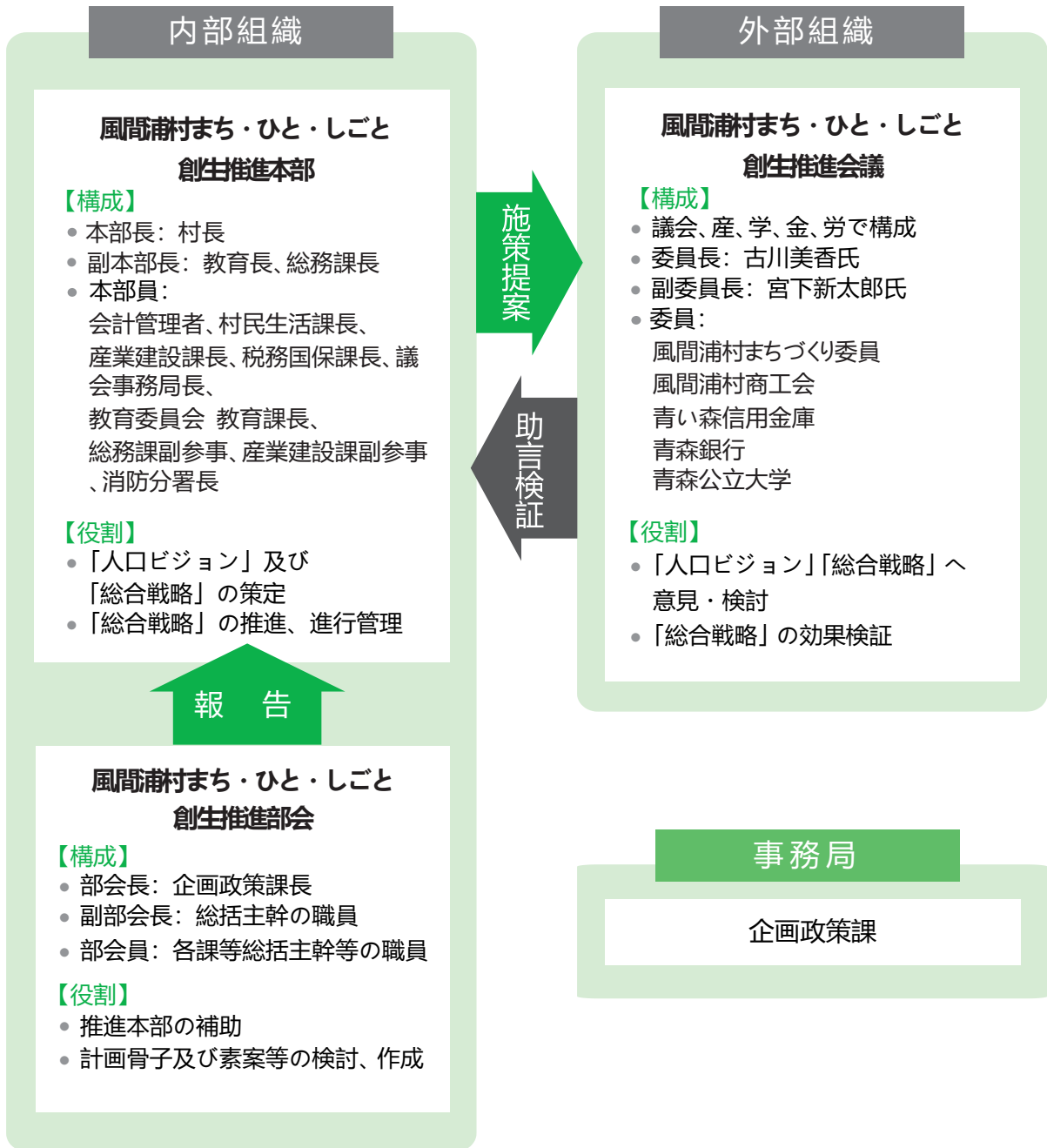
- |                     |                    |                  |
|---------------------|--------------------|------------------|
| ①貧困をなくそう            | ②飢餓をゼロに            | ③すべての人に健康と福祉を    |
| ④質の高い教育をみんなに        | ⑤ジェンダー平等を実現しよう     | ⑥安全な水とトイレを世界に    |
| ⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに | ⑧働きがいも経済成長も        | ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう |
| ⑩人や国の不平等をなくそう       | ⑪住み続けられるまちづくりを     | ⑫つくる責任つかう責任      |
| ⑬気候変動に具体的な対策を       | ⑭海の豊かさを守ろう         | ⑮陸の豊かさを守ろう       |
| ⑯平和と公正をすべてのひとに      | ⑰パートナーシップで目標を達成しよう |                  |

#### 国が掲げる SDGs の8つの優先課題

- |                          |                      |                             |
|--------------------------|----------------------|-----------------------------|
| 1 あらゆる人々の活躍の推進           | 2 健康・長寿の達成           | 3 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション |
| 4 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備 | 5 省・再生可能エネルギー、気候変動対策 |                             |
| 6 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全     | 7 平和と安全・安心社会の実現      | 8 SDGs 実施推進の体制と手段           |



## 風間浦村まち・ひと・しごと創生総合戦略策定 体制図



令和 2年 3月策定

# 風間浦村まち・ひと・しごと創生総合戦略

---

発行 / 風間浦村企画政策課

---

〒039-4502 青森県下北郡風間浦村大字易国間字大川目28-5  
電話：0175-35-2111/FAX：0175-35-2403

# 具体的取組事項

～5つのプロジェクト事業～

**具 体 的 取 組**

政策分野	施策名	取組事項
------	-----	------

生活基盤の強化に係る政策分野

医 療	地域診療の充実	地域診療体制継続事業
福 祉	介護福祉の充実	介護予防事業
	高齢者福祉の充実	一人暮らし高齢者訪問事業
健 康	健康増進の充実	ゆかい村健康寿命向上事業
教 育	教育水準の向上及び教育環境の充実 次代を担う人材育成及び社会教育の充実	教育相談体制の充実
		保育無償化事業
産 業 振 興	地域経済の活性化及び雇用対策の充実	子ども医療費無償化事業
		未来へ繋ぐ海のプロジェクト
		子ども医療費無償化事業
		未来へ繋ぐ森のプロジェクト
		未来へ繋ぐ農のプロジェクト
		ゆかい村再発見プロジェクト
		観光振興対策
消 防	地域防災の充実強化	消防団・自主防災組織等の充実強化事業
環 境	家庭ゴミ減量へ向けた施策の推進	家庭ゴミ減量大作戦事業
	海岸漂着物処理体制の充実	海岸漂着物地域対策推進事業
そ の 他	文化・芸能の継承及び交流の場の提供	郷土芸能伝承事業
		世代間交流事業

結び付きやネットワークの強化に係る政策分野

地域公共交通	生活交通手段の維持確保	交通弱者支援事業
地域内外の住民との交流・移住促進	交流・移住・定住の促進	地域おこし協力隊導入事業
		空き家バンク活用事業
	婚活支援の推進	ワーケーション拠点整備事業
		婚活応援事業

# 目次

## 【定住応援むらづくりプロジェクト】

消防団・自主防災組織等の充実強化事業	P-1
婚活応援事業	P-2
空き家バンク活用事業	P-3
家庭ゴミ減量大作戦事業	P-4
海岸漂着物地域対策推進事業	P-5
交通弱者支援事業	P-6
一人暮らし高齢者訪問事業	P-7
地域おこし協力隊導入事業	P-8

## 【きずな応援むらづくりプロジェクト】

ゆかい村再発見プロジェクト	P-9
ワーケーション拠点整備事業	P-10
世代間交流事業	P-11
郷土芸能伝承事業	P-12

## 【名物応援むらづくりプロジェクト】

未来へ繋ぐ海のプロジェクト事業	P-13
未来へ繋ぐ農のプロジェクト事業	P-14
未来へ繋ぐ森のプロジェクト事業	P-15

## 【子育て応援むらづくりプロジェクト】

未来を生きる力の育成	P-16
教育相談体制整備事業	P-17
子ども医療費無償化事業	P-18
保育無償化事業	P-19

## 【健康応援むらづくりプロジェクト】

ゆかい村健康寿命延伸事業	P-20
介護予防事業	P-21
地域診療体制継続事業	P-22

# 定住応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- ・豊かな自然を好む移住者を誘い、定住を促進するための情報発信に努めます。
- ・安心・安全に暮らすための環境整備に努めます。



### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
移住世帯数	5年間累計 5世帯

## 2. 基本方向

- ・風間浦村へ新しい人の流れをつくることのできる施策であること。

## 3. 具体的な施策と成果指標

事業名	消防団・自主防災組織等の充実強化事業		担当課 グループ名	総務課 財務保安グループ 消防分署		
内容	消防団員の確保・増員により消防団組織の充実強化を図るとともに、自主防災組織との連携を推進し、住民が地域防災の担い手となる環境を整備する。					
効果	地域防災力の充実強化を図り、住民の安心・安全な暮らしを確保。					
成果指標	5年後に消防団員数（協力団員含む）130人以上在籍（定数150人、実員120人） 自主防災組織を対象とした防災訓練等の実施					
事業計画	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
						
活用を想定する補助金制度	※現時点で補助金等の該当する場合は、記載願います。					
特記事項						
関連するSDGsのゴール						

# 定住応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- ・豊かな自然を好む移住者を誘い、定住を促進するための情報発信に努めます。
- ・安心・安全に暮らすための環境整備に努めます。

### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
移住世帯数	5年間累計 5世帯

## 2. 基本方向

- ・風間浦村へ新しい人の流れをつくることのできる施策であること。

## 3. 具体的な施策と成果指標

事業名	婚活応援事業		担当課 グループ名	企画政策課 政策推進グループ		
内容	しもきた恋パークや婚活イベントの情報を村内の独身の方へ周知する。 婚活イベントを誘致し、風間浦村を体験をしてもらうことで移住婚活につなげる。					
効果	村外からパートナーを呼び込むことによる人口拡大。 移住婚活による定住促進。					
成果指標	村民婚活参加人数 5人/年					
事業計画	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
						
活用を想定する補助金制度	※現時点で補助金等の該当する場合は、記載願います。					
特記事項						
関連するSDGsのゴール						

# 定住応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- ・豊かな自然を好む移住者を誘い、定住を促進するための情報発信に努めます。
- ・安心・安全に暮らすための環境整備に努めます。

### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
移住世帯数	5年間累計 5世帯

## 2. 基本方向

- ・ 風間浦村へ新しい人の流れをつくることのできる施策であること。

## 3. 具体的な施策と成果指標

事業名	空き家バンク活用事業		担当課 グループ名	企画政策課 政策推進グループ		
内容	空き家バンク制度の周知を図り、登録別件数の増加を目指す。 空き家情報や奨励金制度の周知を図り、定住促進に繋げる。					
効果	空き家の活用促進や生活環境の保全が図られる。					
成果指標	空き家バンク登録件数 5年間の累計 10件					
事業計画	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
						
活用を想定する補助金制度	※現時点で補助金等の該当する場合は、記載願います。					
特記事項	※事業費内訳 ○定住奨励金 500千円 ○空き家バンク関係事業費 100千円					
関連するSDGsのゴール						



# 定住応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- ・豊かな自然を好む移住者を誘い、定住を促進するための情報発信に努めます。
- ・安心・安全に暮らすための環境整備に努めます。

### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
移住世帯数	5年間累計 5世帯

## 2. 基本方向

- ・風間浦村へ新しい人の流れをつくることのできる施策であること。

## 3. 具体的な施策と成果指標

事業名	家庭ゴミ減量大作戦事業				担当課 グループ名	村民生活課 保健衛生グループ
内容	一般家庭から排出される可燃ゴミの約50%が生ゴミであり、水切りを実行することでゴミの減量が図られることから、ゴミの排出方法についての啓発活動を重点的に行う。					
効果	ゴミの減量化により地域の環境美化が図られ、美しい生活環境が整う。					
成果指標	住民1人1日あたりのゴミ排出量を平成29年度実績より20%減量する (一人一日当たりのゴミ排出量：5年後 738g)					
事業計画	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
						
活用を想定する補助金制度						
特記事項						
関連するSDGsのゴール						

# 定住応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- ・豊かな自然を好む移住者を誘い、定住を促進するための情報発信に努めます。
- ・安心・安全に暮らすための環境整備に努めます。

### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
移住世帯数	5年間累計 5世帯

## 2. 基本方向

- ・風間浦村へ新しい人の流れをつくることのできる施策であること。

## 3. 具体的な施策と成果指標

事業名	海岸漂着物地域対策推進事業				担当課 グループ名	村民生活課 保健衛生グループ
内容	海岸に漂着した木くずや廃プラスチック類を業者委託又は地域住民ボランティアを活用しながら回収及び処分する。					
効果	約20kmにわたる海岸線の環境美化が図られ、地域住民の環境への動機付けに繋がる。					
成果指標	毎年5tずつ回収・処理し、5年間で25t処理する					
事業計画	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
						
活用を想定する補助金制度	青森県海岸漂着物地域対策推進事業補助金 (補助率10/10※ただし予算の範囲内による)					
特記事項						
関連するSDGsのゴール	   					

# 定住応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- ・豊かな自然を好む移住者を誘い、定住を促進するための情報発信に努めます。
- ・安心・安全に暮らすための環境整備に努めます。

### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
移住世帯数	5年間累計 5世帯

## 2. 基本方向

- ・風間浦村へ新しい人の流れをつくることのできる施策であること。

## 3. 具体的な施策と成果指標

事業名	交通弱者支援事業		担当課 グループ名	企画政策課 政策推進グループ	
内容	医療機関（風間浦村診療所及び大間病院）への患者送迎バスの運行。				
効果	人口減少や高齢化の進展による交通弱者へ配慮したコミュニティバスの運行を行うことにより、利用者の利便が図られる。				
成果指標	コミュニティバス利用者 5,000人/年				
事業計画	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
					
活用を想定する補助金制度	※現時点で補助金等の該当する場合は、記載願います。				
特記事項					
関連するSDGsのゴール	 3 すべての人に健康と福祉を		 11 住み続けられるまちづくりを		

# 定住応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- ・豊かな自然を好む移住者を誘い、定住を促進するための情報発信に努めます。
- ・安心・安全に暮らすための環境整備に努めます。

### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
移住世帯数	5年間累計 5世帯

## 2. 基本方向

- ・風間浦村へ新しい人の流れをつくることのできる施策であること。

## 3. 具体的な施策と成果指標

事業名	一人暮らし高齢者訪問事業	担当課 グループ名	地域包括支援センター		
内容	一人暮らしの高齢者宅に訪問し、生活していくうえでの悩み事等の相談を受ける。				
効果	高齢者が安心して暮らす環境が整う。				
成果指標	1日5件、延べ月115件程度の訪問を行う				
事業計画	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
					
活用を想定する補助金制度	※現時点で補助金等の該当する場合は、記載願います。				
特記事項	介護保険事業				
関連するSDGsのゴール	 3 すべての人に健康と福祉を	 11 住み続けられるまちづくりを			

# 定住応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- ・豊かな自然を好む移住者を誘い、定住を促進するための情報発信に努めます。
- ・安心・安全に暮らすための環境整備に努めます。

### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
移住世帯数	5年間累計 5世帯

## 2. 基本方向

- ・風間浦村へ新しい人の流れをつくることのできる施策であること。

## 3. 具体的な施策と成果指標

事業名	地域おこし協力隊導入事業				担当課 グループ名	産業建設課 産業振興グループ
内容	後継者不足により衰退している風間浦村の主要産業である漁業・観光業に地域おこし協力隊を導入し、地域経済の持続化を図る。					
効果	移住者の増加 主要産業の担い手不足解消。					
成果指標	地域おこし協力隊導入 0人 (R2) ⇒6人 (R6)					
事業計画	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	R2.3計画 R4導入 開始
						
活用を想定する補助金制度	特別交付税					
特記事項	住居は旅館等の空き部屋を活用することが可能であれば、地域に経済効果をもたらすことができる。					
関連するSDGsのゴール						

# きずな応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- ・人と人の絆（村民同士や村民と村外住民）を育むことで関係人口の拡大を図ります。

### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
観光客入込数	70,866人（H30）⇒80,000人（R6）

## 2. 基本方向

- ・風間浦村へ新しい人の流れをつくることのできる施策であること。（観光関連）
- ・風間浦村内外の人と人をつなぐ施策であること。

## 3. 具体的な施策と成果指標

事業名	ゆかい村再発見プロジェクト				担当課 グループ名	産業建設課 産業振興グループ
内容	下風呂温泉新浴舎を核とした誘客促進のため、ホームページを中心とした情報発信の強化と湯治文化の周知を行う。					
効果	風間浦村への誘客促進により地域全体に経済効果をもたらす。					
成果指標	ホームページアクセス数の増加 年間12,493アクセス（H30）⇒年間18,000アクセス（R6）					
事業計画	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
						
活用を想定する補助金制度	※現時点で補助金等の該当する場合は、記載願います。					
特記事項	青森県未来を変える元気事業					
関連するSDGsのゴール	 3 すべての人に健康と福祉を		 8 働きがいも経済成長も		 11 住み続けられるまちづくりを	

# きずな応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- ・人と人の絆（村民同士や村民と村外住民）を育むことで関係人口の拡大を図ります。

### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
観光客入込数	70,866人（H30）⇒80,000人（R6）

## 2. 基本方向

- ・風間浦村へ新しい人の流れをつくることのできる施策であること。（観光関連）
- ・風間浦村内外の人と人をつなぐ施策であること。

## 3. 具体的な施策と成果指標

事業名	ワーケーション拠点整備事業				担当課 グループ名	産業建設課 産業振興グループ
内容	夏場でも冷房不要の気象環境を生かし、働きながら休暇を取るワーケーション拠点を整備する。					
効果	首都圏からの交流人口拡大、長期滞在による地域への経済効果。					
成果指標	ワーケーション拠点利用者 0人（R3）⇒10人（R6）					
事業計画	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	R2.3計画策定 R4 拠点整備 R5.6利 用開始
活用を想定する補助金制度	地方創生整備交付金・推進交付金等					
特記事項	拠点となる施設については要検討事項 最低限必要な物は強力なwifi環境・トイレ・キッチン 宿泊は下風呂温泉ホテル・旅館・民宿を想定					
関連するSDGsのゴール	 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>		 <p>8 働きがいも経済成長も</p>		 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	
					 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	

# きずな応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- ・人と人の絆（村民同士や村民と村外住民）を育むことで関係人口の拡大を図ります。

### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
観光客入込数	70,866人（H30）⇒80,000人（R6）

## 2. 基本方向

- ・風間浦村へ新しい人の流れをつくることのできる施策であること。（観光関連）
- ・風間浦村内外の人と人をつなぐ施策であること。

## 3. 具体的な施策と成果指標

事業名	世代間交流事業				担当課 グループ名	村民生活課 福祉介護グループ
内容	母子、高齢者等の交流の場を提供する。					
効果	世代間での交流により、家族や地域のきずなが深まる。					
成果指標	母子、高齢者の交流3回／年					
事業計画	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
						
活用を想定する補助金制度	※現時点で補助金等の該当する場合は、記載願います。					
特記事項	みちのく福祉会より協力いただき、保育所高齢者を招待する					
関連するSDGsのゴール						



# きずな応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- ・人と人の絆（村民同士や村民と村外住民）を育むことで関係人口の拡大を図ります。



### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
観光客入込数	70,866人（H30）⇒80,000人（R6）

## 2. 基本方向

- ・風間浦村へ新しい人の流れをつくることのできる施策であること。（観光関連）
- ・風間浦村内外の人と人をつなぐ施策であること。

## 3. 具体的な施策と成果指標

事業名	郷土芸能伝承事業		担当課 グループ名	教育委員会 教育グループ	
内容	地域の郷土芸能を伝承していくためには、小・中学生から体験し親しみを持ち習得することで郷土愛を育み、地域の祭を継続のための人材育成を図る。また、デジタル化による可視化を図り、地域内外への情報発信する。				
効果	地域の郷土芸能の伝承・保存。 未来につなげる郷土をつくる伝承者を育てることができる。				
成果指標	・地域内の郷土芸能の演目の習得数：1目/年 5年後は、5目				
事業計画	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
					
活用を想定する補助金制度	※現時点で補助金等の該当する場合は、記載願います。				
特記事項	R2年度は、モデル地区として蛇浦からスタート （演目：神楽・恵比須舞・助六・ドウ突き・笠踊り・餅つき踊り） 次年度以降は、村内全ての郷土芸能のデジタル化（小川原財団利用）を図り、短編も制作して情報発信する R3年度以降には、易国間の神楽伝承のための活動をスタート				
関連するSDGsのゴール					

# 名物応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- ・山海の幸を活かした雇用の場づくりと地域資源の有効活用を図る

### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
新規就業者数	5年間の累計 3人

## 2. 基本方向

- ・風間浦村において安定した雇用を創出し、新規就業者の確保・育成を目指す施策であること。

## 3. 具体的な施策と成果指標

事業名	未来へ繋ぐ海のプロジェクト事業	担当課 グループ名	産業建設課 産業振興グループ		
内容	藻場の再生活動の支援。 漁家所得向上を目指した養殖・販促活動の助成支援。 漁業後継者就労支援と支援制度の確立。				
効果	藻場の再生は、磯根資源復活の第一歩であり、ブルーカーボンへ繋がる。 海藻や魚介類の養殖事業などの定着により安定的な漁家所得の向上に繋がる。				
成果指標	藻場再生活動の回数 H30 15回 ⇒ R6 21回 養殖事業を手掛ける漁家数（団体含む） H30 4人（団体） ⇒ R6 7人（団体）				
事業計画	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
					
活用を想定する補助金制度	※現時点で補助金等の該当する場合は、記載願います。				
特記事項					
関連するSDGsのゴール					

# 名物応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- ・山海の幸を活かした雇用の場づくりと地域資源の有効活用を図る

### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
新規就業者数	5年間の累計 3人

## 2. 基本方向

- ・風間浦村において安定した雇用を創出し、新規就業者の確保・育成を目指す施策であること。

## 3. 具体的な施策と成果指標

事業名	未来へ繋ぐ農のプロジェクト事業		担当課 グループ名	産業建設課 産業振興グループ	
内容	農地を守り、未来へ繋げるための事業（野生鳥獣から農地を守るための活動） 農業を楽しみお金に換えるための事業（青空教室等の開催や産直ムバへの誘導）				
効果	農家減少や遊休農地の増加を防ぎ、高齢者の生きがいや健康増進に繋がる。 新規就農者の掘り起こしが期待される。				
成果指標	農作物被害額 H30 6万円台 ⇒ R6 3万円台 青空教室等の開催回数 H30 1回/年 ⇒ R6 2回/年				
事業計画	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
					
活用を想定する補助金制度	青森県未来を変える元気事業、国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金				
特記事項	※事業費内訳 青森県未来を変える元気事業（4,000千円） 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（2,000千円）				
関連するSDGsのゴール					

# 名物応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- ・山海の幸を活かした雇用の場づくりと地域資源の有効活用を図る

### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
新規就業者数	5年間の累計 3人

## 2. 基本方向

- ・風間浦村において安定した雇用を創出し、新規就業者の確保・育成を目指す施策であること。

## 3. 具体的な施策と成果指標

事業名	未来へ繋ぐ森のプロジェクト事業	担当課 グループ名	産業建設課 産業振興グループ		
内容	森林整備、製材業への支援。				
効果	森林整備を実施することにより新規就業者の雇用が図られる。 豊かな森林環境の保全は、林地の荒廃化を防ぎグリーンカーボンへ繋がる。				
成果指標	林業に係る新規就業者数 5年間の累計 3人				
事業計画	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
					
活用を想定する補助金制度					
特記事項	事業費内訳 森林整備地域活動支援事業（間伐等） 2,000千円				
関連するSDGsのゴール					

# 子育て応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- ・村の宝である子供の成長を応援し、人材の育成を図ります。



### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
I C T機器の充足率	100%

## 2. 基本方向

- ・風間浦村に暮らす若い世代の結婚・出産・子育てを応援し、風間浦村ならではの教育環境や風土・文化・歴史を学べる施策であること。

## 3. 具体的な施策と成果指標

事業名	未来を生きる力の育成				担当課 グループ名	教育課 教育グループ
内容	I C T教育における環境整備と教育内容の充実を図る。 A I活用講座を実施し、社会で生きる力を育てる。 わくわくする教育環境を図る。					
効果	学ぶことの面白さを知り、確かな学力が身につく					
成果指標	学校が楽しいと感じる児童生徒の割合 85%（毎年度：アンケート調査）					
事業計画	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
						
活用を想定する補助金制度	※現時点で補助金等の該当する場合は、記載願います。					
特記事項	I C T機器整備 6,000千円					
関連するSDGsのゴール						

# 子育て応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- ・村の宝である子供の成長を応援し、人材の育成を図ります。

### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
I C T機器の充足率	100%

## 2. 基本方向

- ・風間浦村に暮らす若い世代の結婚・出産・子育てを応援し、風間浦村ならではの教育環境や風土・文化・歴史を学べる施策であること。

## 3. 具体的な施策と成果指標

事業名	教育相談体制整備事業		担当課 グループ名	教育課 教育グループ	
内容	スクールカウンセラーの配置により、児童生徒・保護者の心のケアを図る。 (カウンセラー 一人/2回/月) いじめや不登校につながる問題の早期解決を目指す。				
効果	児童生徒が安心して、学校へ通うことができる。				
成果指標	カウンセリング件数    H30年度 13件    R6年度 3件				
事業計画	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
					
活用を想定する補助金制度	※現時点で補助金等の該当する場合は、記載願います。				
特記事項	2, 895千円				
関連するSDGsのゴール	<b>3</b> すべての人に健康と福祉を 	<b>4</b> 質の高い教育をみんなに 	<b>10</b> 人や国の不平等をなくそう 		

# 子育て応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- ・村の宝である子供の成長を応援し、人材の育成を図ります。

### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
I C T機器の充足率	100%

## 2. 基本方向

- ・風間浦村に暮らす若い世代の結婚・出産・子育てを応援し、風間浦村ならではの教育環境や風土・文化・歴史を学べる施策であること。

## 3. 具体的な施策と成果指標

事業名	子ども医療費無償化事業				担当課 グループ名	村民生活課 保健衛生グループ
内容	従来の乳幼児から中学生までを対象として、医療費の自己負担に係る費用助成の範囲を、高等学校卒業までに支援を拡張し、子育てしやすい村づくりを目指す。					
効果	子どもに係る医療費を無償化にすることにより、子育てしやすい環境を整え、定住化や域内就業率の向上につながる。					
成果指標	毎年度の出生数を6人見込む。または子どもの転入者を年6人見込む。					
事業計画	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
						
活用を想定する補助金制度	はつらつ育成事業費補助金（未就学児までが補助対象で補助率は事業費の1/2）					
特記事項						
関連するSDGsのゴール	 3 すべての人に健康と福祉を	 8 働きがいも経済成長も	 10 人や国の不平等をなくそう	 11 住み続けられるまちづくりを		

# 子育て応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- ・村の宝である子供の成長を応援し、人材の育成を図ります。

### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
I C T機器の充足率	100%

## 2. 基本方向

- ・風間浦村に暮らす若い世代の結婚・出産・子育てを応援し、風間浦村ならではの教育環境や風土・文化・歴史を学べる施策であること。

## 3. 具体的な施策と成果指標

事業名	保育無償化事業				担当課 グループ名	村民生活課 福祉介護グループ
内容	風間浦村在住で風間浦保育所に入所した全ての子どもの保育に係る費用を無償とする。					
効果	保育に係る費用を無償とし、子育てのしやすい環境が整う。					
成果指標	風間浦村在住で風間浦保育所に入所した全ての子ども。35人程度/年					
事業計画	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
						
活用を想定する補助金制度	※現時点で補助金等の該当する場合は、記載願います。					
特記事項	※村独自無償分 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 0～2歳児の保育料（1人13,000円/月×13人）</li> <li>○ 副食費（2,000円/月×35人）</li> <li>○ 主食費（1,000円/月×35人）</li> </ul>					
関連するSDGsのゴール						



# 健康応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- 健康で活動的な村民を増やし、活力あるむらづくりを進めます。

### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
平均寿命	男：令和2年度78.7歳 ⇒ 令和6年度80.0歳
	女：令和2年度85.5歳 ⇒ 令和6年度87.0歳

## 2. 基本方向

- 時代にあった風間浦村をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携するものであること。

## 3. 具体的な施策と成果指標

事業名	ゆかい村健康寿命延伸事業		担当課 グループ名	村民生活課 保健衛生グループ		
内容	特定健診受診率の向上を目指した取組を行うとともに、検診結果を踏まえた運動習慣の意識付けや、だし活講座を開催して食生活を改善するきっかけづくりを行う。					
効果	食生活を見直し、実践することにより、平均寿命の延伸が図られる。					
成果指標	5年後の平均寿命を、男性80歳、女性87歳とする					
事業計画	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
						
活用を想定する補助金制度	青森県未来を変える元気事業補助金（補助率2/3）					
特記事項						
関連するSDGsのゴール	<b>3</b> すべての人に健康と福祉を 		<b>4</b> 質の高い教育をみんなに 		<b>11</b> 住み続けられるまちづくりを 	

# 健康応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- 健康で活動的な村民を増やし、活力あるむらづくりを進める




### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
平均寿命	男：令和2年度78.7歳 ⇒ 令和6年度80.0歳
	女：令和2年度85.5歳 ⇒ 令和6年度87.0歳

## 2. 基本方向

- 時代にあった風間浦村をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携するものであること。

## 3. 具体的な施策と成果指標

事業名	介護予防事業		担当課 グループ名	村民生活課 福祉介護グループ 地域包括支援センター		
内容	湯っこの会事業及び老人無料入浴事業の際に憩いの場を設け、血圧測定、健康相談及び体操などを行い、介護を予防する。 専門職による介護、リハビリを必要とする方の相談受付や介護予防教室を開催する。					
効果	介護を必要とする方を減らし、健康寿命を延ばす。 介護が必要となっている方の負担を減らす。					
成果指標	介護予防に関する教室等を月5回以上開催する					
事業計画	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
						
活用を想定する補助金制度	※現時点で補助金等の該当する場合は、記載願います。					
特記事項	※湯っこの会時の憩いの場設置月1回開催（2,000円/月） 無料入浴時の憩いの場設置月3回程度（2,000円/月） 介護予防教室月1回程度開催（10,000円/月）					
関連するSDGsのゴール						

# 健康応援むらづくりプロジェクト

## 1. 基本目標

- 健康で活動的な村民を増やし、活力あるむらづくりを進める

### ○ 数値目標

成果指標	数値目標
平均寿命	男：令和2年度78.7歳 ⇒ 令和6年度80.0歳
	女：令和2年度85.5歳 ⇒ 令和6年度87.0歳

## 2. 基本方向

- 時代にあった風間浦村をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携するものであること。

## 3. 具体的な施策と成果指標

事業名	地域診療体制継続事業	担当課 グループ名	村民生活課 保健衛生グループ		
内容	地域医療の確保と適切な診療所環境の維持管理に努める。				
効果	住民の受診環境を整えることで、初期診療といった地域医療の役割が果たされるほか、地元で各種予防接種、健康診査やがん検診の受診も可能となる。				
成果指標	診療所診療日 年間：244日を維持する				
事業計画	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
活用を想定する補助金制度					
特記事項					
関連するSDGsのゴール	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p><b>3</b> すべての人に健康と福祉を</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p>  </div> </div>				